

## 第2章 奈良県の「がん」を取り巻く現状

第  
1  
章

第  
2  
章

第  
3  
章

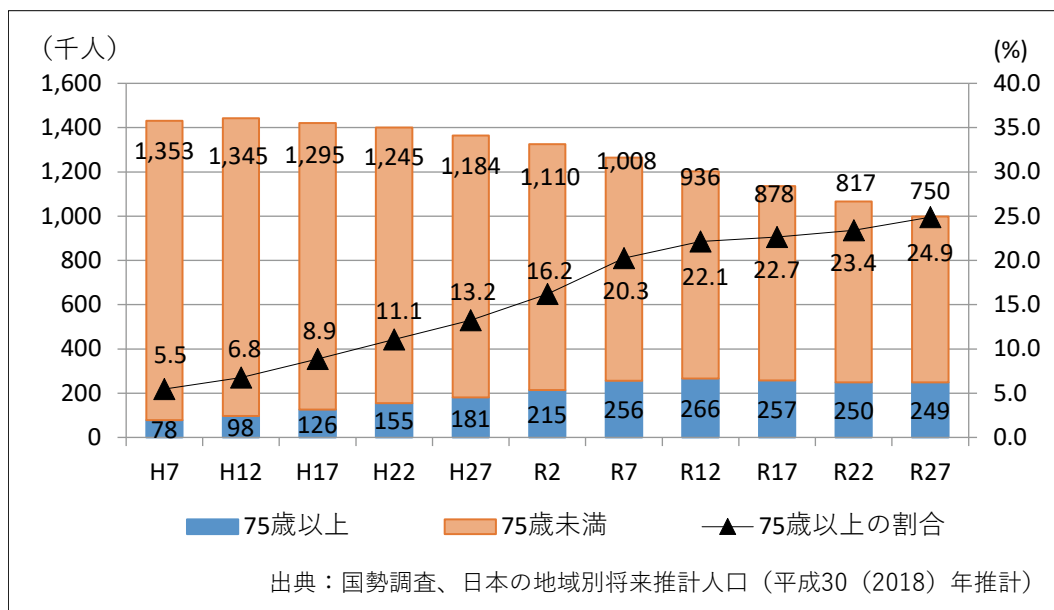
第  
4  
章

資  
料

## 1 人口の推移と将来推計

奈良県の総人口は、令和2（2020）年の国勢調査によると、1,324,473人で、そのうち75歳以上の人口は、214,659人となっています。総人口が減少する中、75歳以上の人口は増加傾向にあります。なお、平成30（2018）年3月推計の日本の都道府県の将来推計人口によると、今後も総人口は減少し、75歳以上の人口は令和12（2030）年にピークを迎えます。75歳以上の人口が総人口に占める割合は、年々増加する見込みです（図4）。

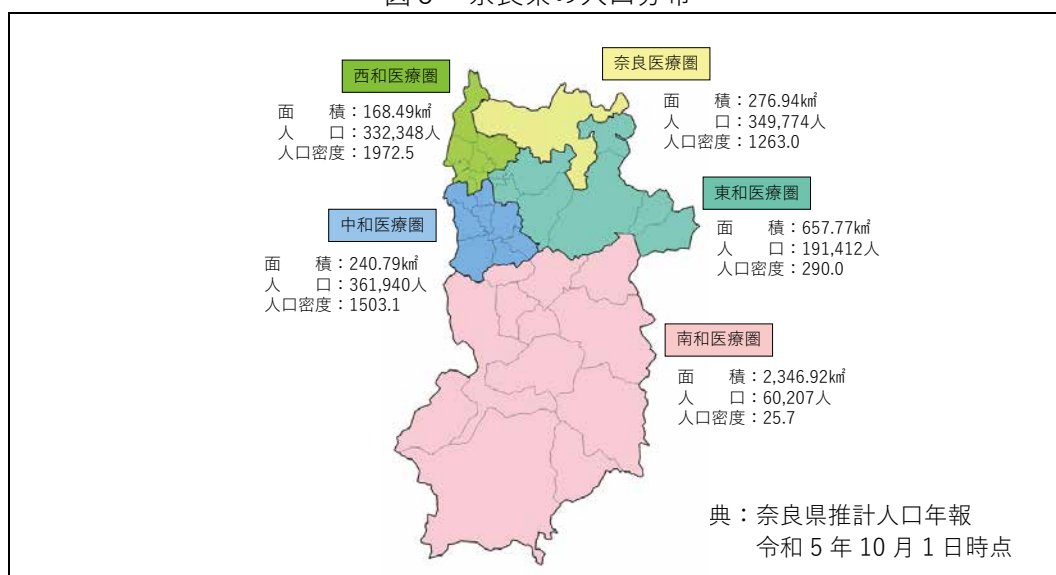
図4 奈良県の人口



## 2 奈良県の人口分布

医療圏<sup>※3</sup>ごとに人口分布をみると、中和医療圏が最も多く、次いで奈良医療圏、西和医療圏の順となっています。人口密度をみても県の北部に人口が集中しています（図5）。

図5 奈良県の人口分布



医療圏<sup>※3</sup> …都道府県が病床の整備を図るにあたって設定する地域的単位のこと。

### 3 がんの死亡状況

奈良県において、がんは、昭和 54（1979）年に脳血管疾患を上回り、死因の第1位となり、がん死亡率はそれ以降も増加傾向です（図6）。

令和 4（2022）年には 4,231 人ががんで死亡し、総死亡数に占めるがん死亡数の割合は 24.6% となっています（図7）。

図6 主な死因別死亡率（人口10万対）

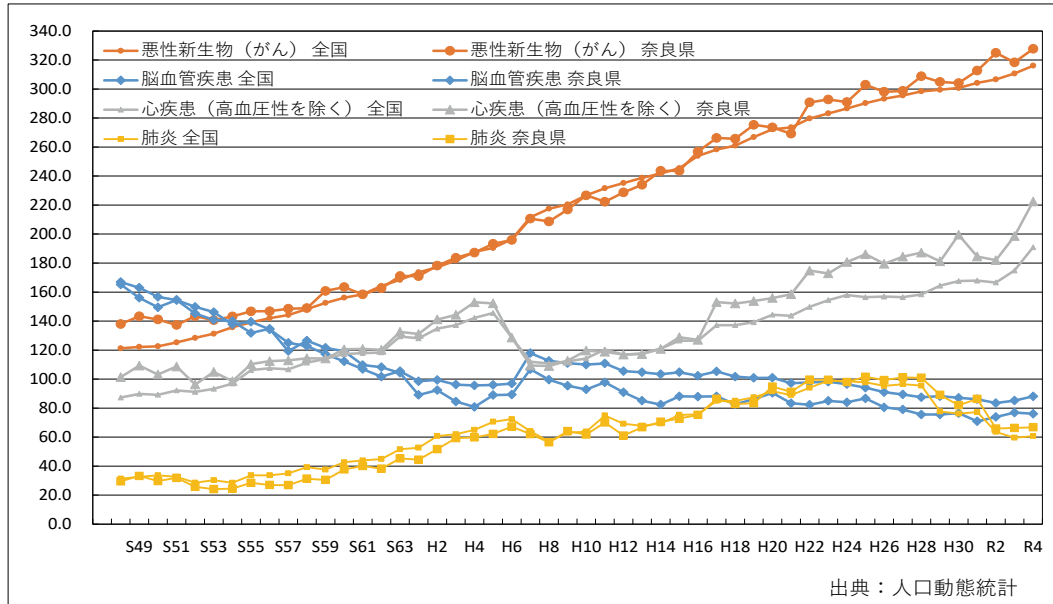
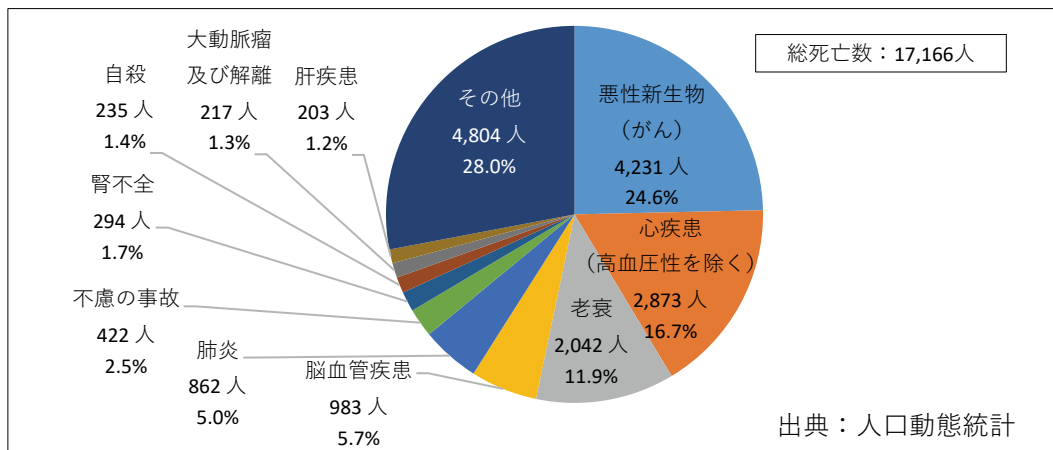


図7 奈良県の主な死因別死亡数（令和4年）



性・年齢階級別がん死亡数をみると、全国と同様に年代が上がるにつれて増加し、80-84歳が最も多くなっています。また、総死亡数に占めるがん死亡数の割合は、65-69歳で最も高く（49.5%）、約半数のがんで亡くなっています（表1）。

また、がん75歳未満年齢調整死亡率<sup>※4</sup>をみると、全国同様に年々減少傾向にあり、令和3（2021）年では62.4と、全国（67.4）より低い状況です（図8）。

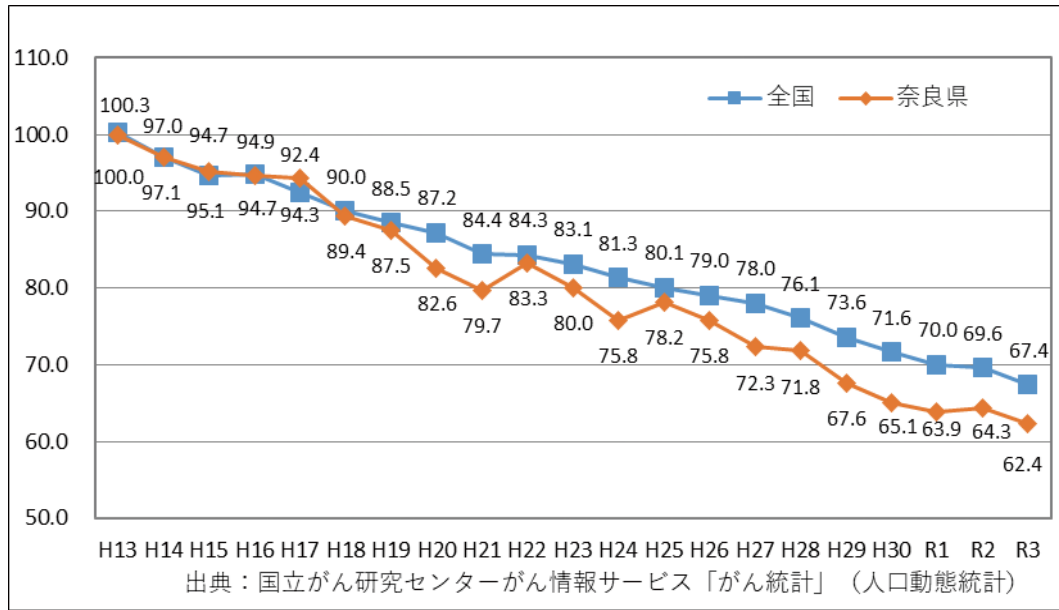
年齢調整死亡率<sup>※4</sup>…年齢構成の異なる地域間での死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた死亡率のこと。基準人口は、厚生労働省が公表する令和2（2020）年人口動態統計から平成27（2015）年モデル人口（平成27年人口をベースに作られた仮想人口モデル）を用いているが、がん統計では当面の間、従来の昭和60（1985）年モデルを用いることとされている。

表1 性・年齢階級別がん死亡数（令和3年）

区分	全国			奈良県		
	総死亡数 (人) ①	がんによる 死亡数 (人) ②	総死亡数に 占める割合 ②÷①	総死亡数 (人) ①	がんによる 死亡数 (人) ②	総死亡数に 占める割合 ②÷①
総数	1,439,856	381,505	26.5	15,573	4,145	26.6
男性	738,141	222,467	30.1	7,893	2,421	30.7
女性	701,715	159,038	22.7	7,680	1,724	22.4
0-4歳	1,883	63	3.3	26	1	3.8
5-9歳	330	88	26.7	5	1	20.0
10-14歳	441	82	18.6	8	1	12.5
15-19歳	1,204	126	10.5	16	2	12.5
20-24歳	2,183	157	7.2	22	3	13.6
25-29歳	2,322	225	9.7	21	2	9.5
30-34歳	2,863	517	18.1	27	8	29.6
35-39歳	4,293	946	22.0	41	10	24.4
40-44歳	7,154	2,037	28.5	60	18	30.0
45-49歳	13,677	4,296	31.4	116	42	36.2
50-54歳	20,948	7,445	35.5	181	73	40.3
55-59歳	27,795	11,365	40.9	243	103	42.4
60-64歳	40,094	17,660	44.0	368	167	45.4
65-69歳	69,526	31,941	45.9	679	336	49.5
70-74歳	135,816	59,736	44.0	1,396	641	45.9
75-79歳	158,871	60,029	37.8	1,809	714	39.5
80-84歳	225,185	67,402	29.9	2,527	774	30.6
85-89歳	292,364	64,606	22.1	3,243	693	21.4
90-94歳	264,183	39,038	14.8	2,909	421	14.5
95-99歳	134,035	12,117	9.0	1,477	115	7.8
100歳-	34,262	1,614	4.7	399	20	5.0
不詳	427	15	3.5	-	0	-

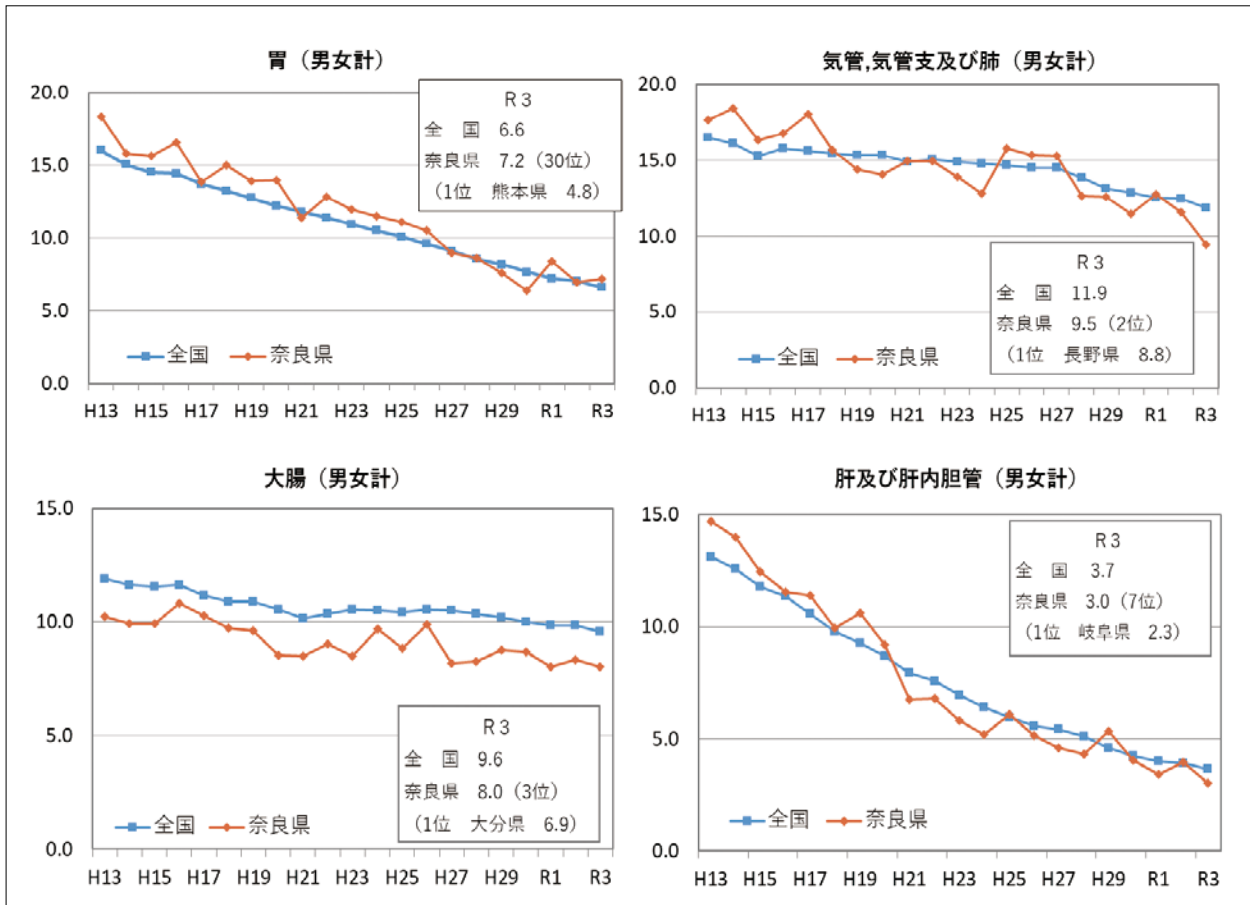
出典：人口動態統計、国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

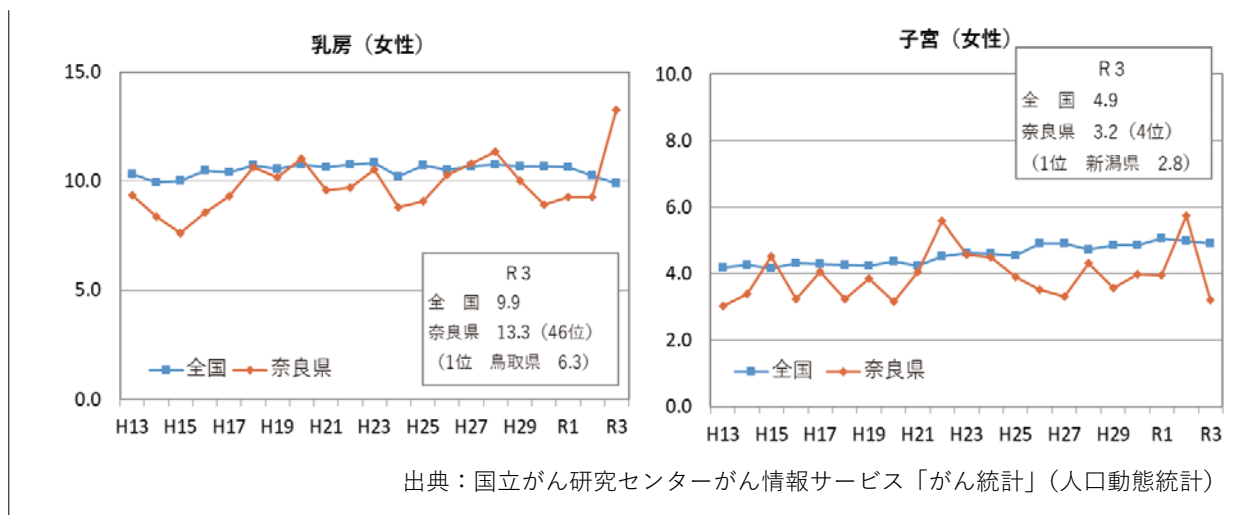
図8 がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



主な部位別がん75歳未満年齢調整死亡率を全国と比較すると、大腸がんは全国値を下回る状況で推移しています。部位別に経年変化を比較すると、「胃」「気管、気管支及び肺」「肝及び肝内胆管」については減少傾向ですが、「乳房」「子宮」については横ばいで推移しています（図9）。

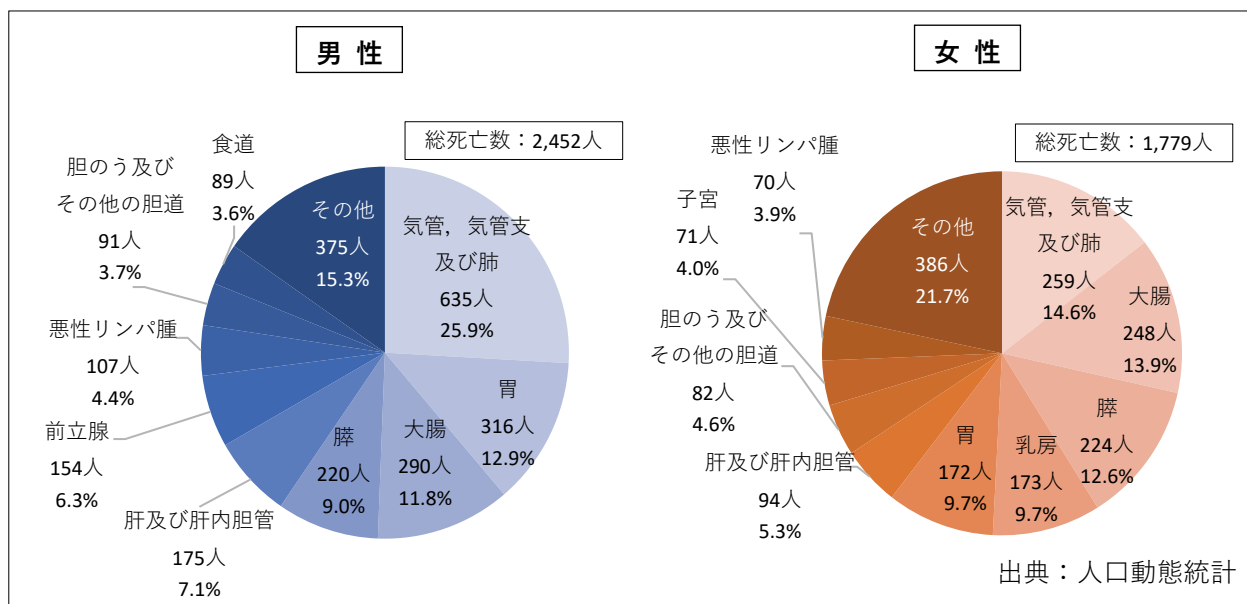
図9 主な部位別がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）





部位別がん死亡数をみると、男性は「気管、気管支及び肺」（25.9％）が最も多く、次いで「胃」（12.9％）、「大腸」（11.8％）の順となっています。女性は「気管、気管支及び肺」（14.6％）が最も多く、次いで「大腸」（13.9％）、「膵」（12.6％）の順となっています（図10）。

図10 奈良県の部位別がん死亡数（令和4年）



#### 4 がんの罹患状況

がん罹患数<sup>※5</sup>をみると、男女とも横ばいの状況です。令和元（2019）年の罹患数は、11,814人でした（図11）。罹患率は男女とも増加傾向にあります。年齢調整罹患率<sup>※6</sup>は横ばいで推移しています（図12、図13）。

罹患数<sup>※5</sup>…対象とする人口集団から、一定期間に、新たにかんと診断された数。

年齢調整罹患率<sup>※6</sup>…年齢構成の異なる地域間での罹患状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた罹患率のこと。基準人口として、国内では通例昭和60（1985）年モデル人口（昭和60年人口をベースに作られた仮想人口モデル）を用い、人口10万対で表す。

図11 がん罹患数

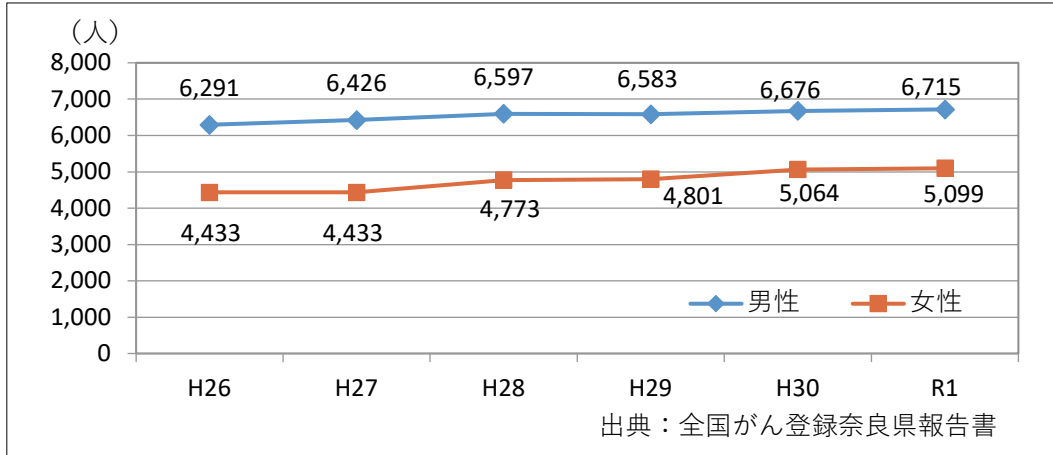


図12 がん罹患率（人口10万対）

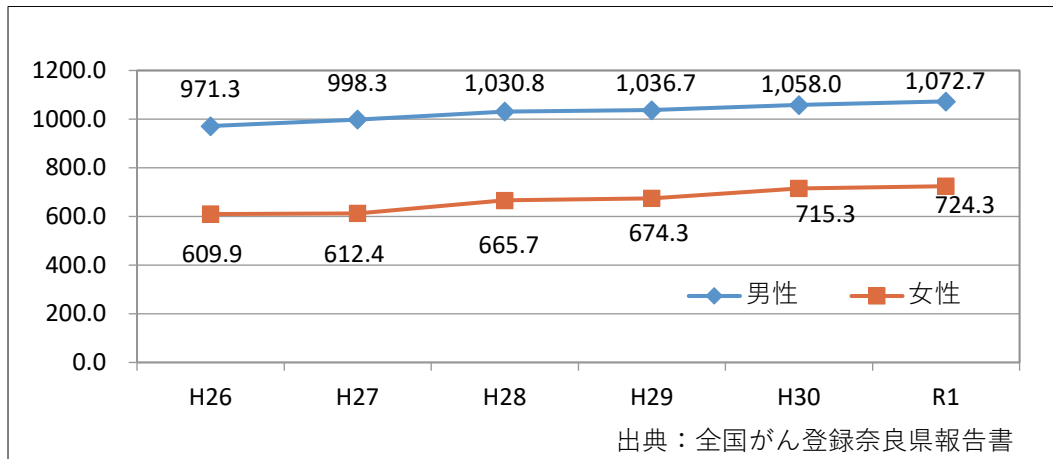
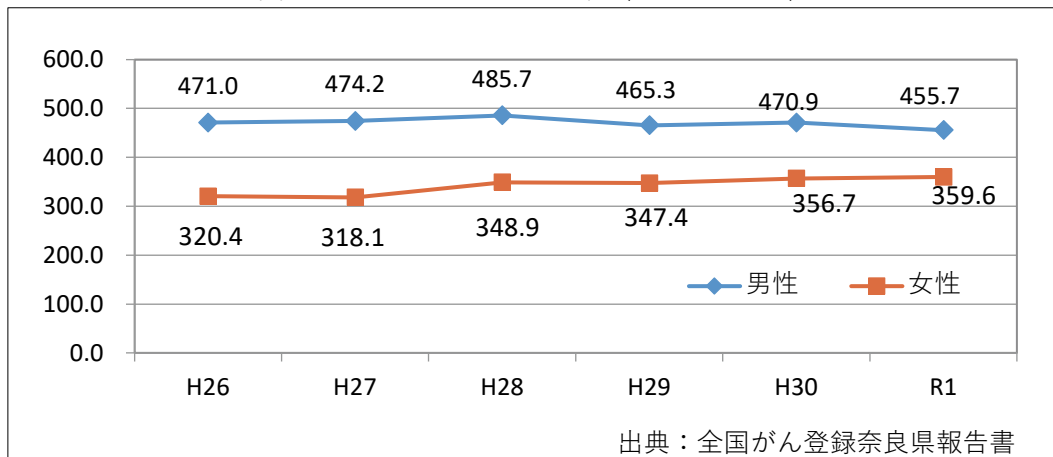


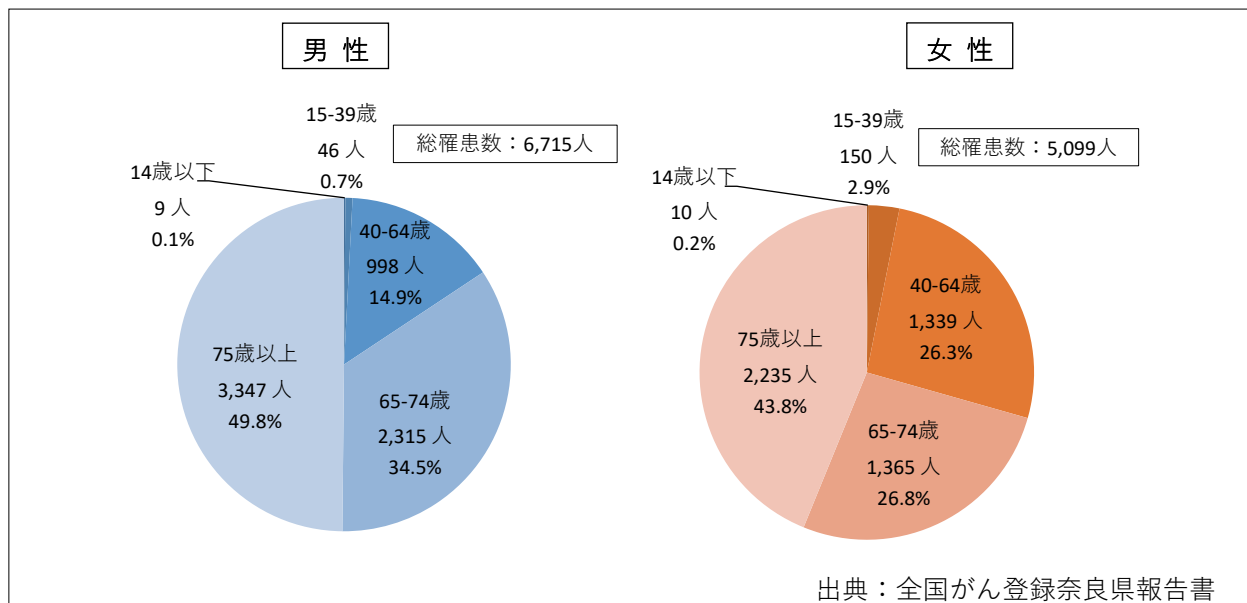
図13 がん年齢調整罹患率（人口10万対）





年齢階級別がん罹患数を見ると、65歳以上の割合が、男性84.3%、女性70.6%となっています（図14）。

図14 年齢階級別がん罹患数（令和元年）



部位別がん罹患数を見ると、男性は「胃」（17.6%）が最も多く、次いで「前立腺」（17.1%）、「肺」（14.9%）の順となっています。

女性は「乳房」（20.9%）が最も多く、次いで「大腸」（15.1%）、「胃」（11.5%）の順となっています（図15）。

図15 部位別がん罹患数（令和元年）

